

参考資料

平成15年3月25日
国土交通省

高速自動車国道における非常電話のコスト縮減(試行)

【現行】



外箱（特注ステンス製）

25.5万円

電話機（防虫防湿
構造アルミダ 付ヤスト製）

13万円

回線確保のための機能

19万円

据付工事費

16.1万円

諸経費等（35.2万円）

合計 108.8万円

ネットワーク構築費 148.3万円
(通信ケーブル・交換装置等の費用)

総計	257.1万円	(H13年度実績)
----	---------	-----------

【变更】

携帯電話の通信可能区間で
関係機関と協議して、試行導入

外箱 (汎用品)

10万円

携帯電話
(市販品)

1万円

盗難防止、電源対策

据付工事費

16.1万円

諸経費等（4.6万円）

合計 約31.7万円

+

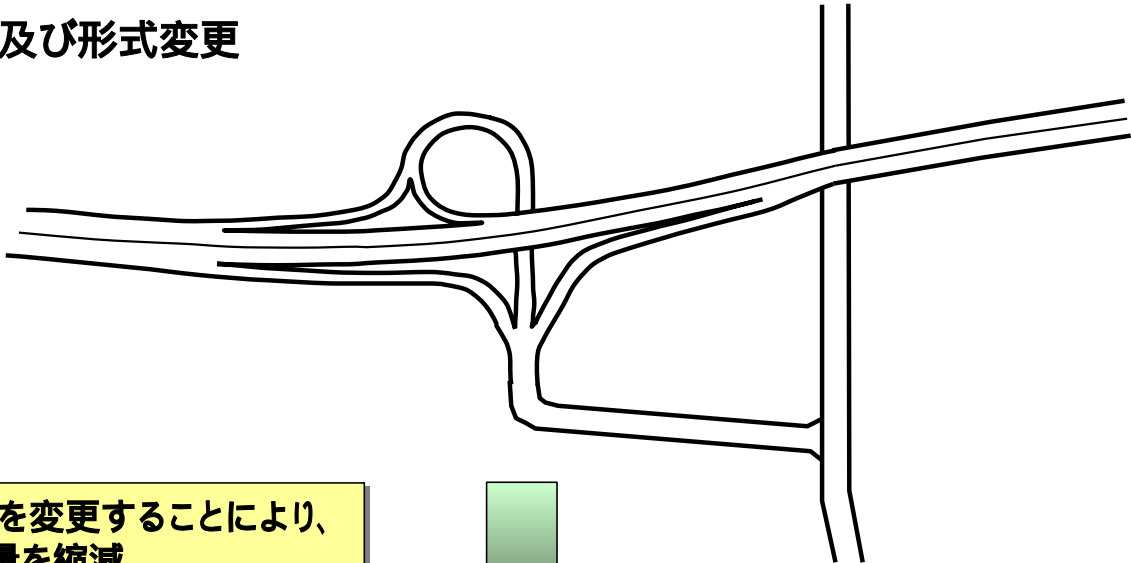
管制室指令台設置費 10万円

総計 約41.7万円

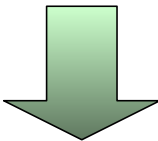
規格変更によるコスト縮減(連絡等施設の見直し)

- ICのコンパクト化及び形式変更

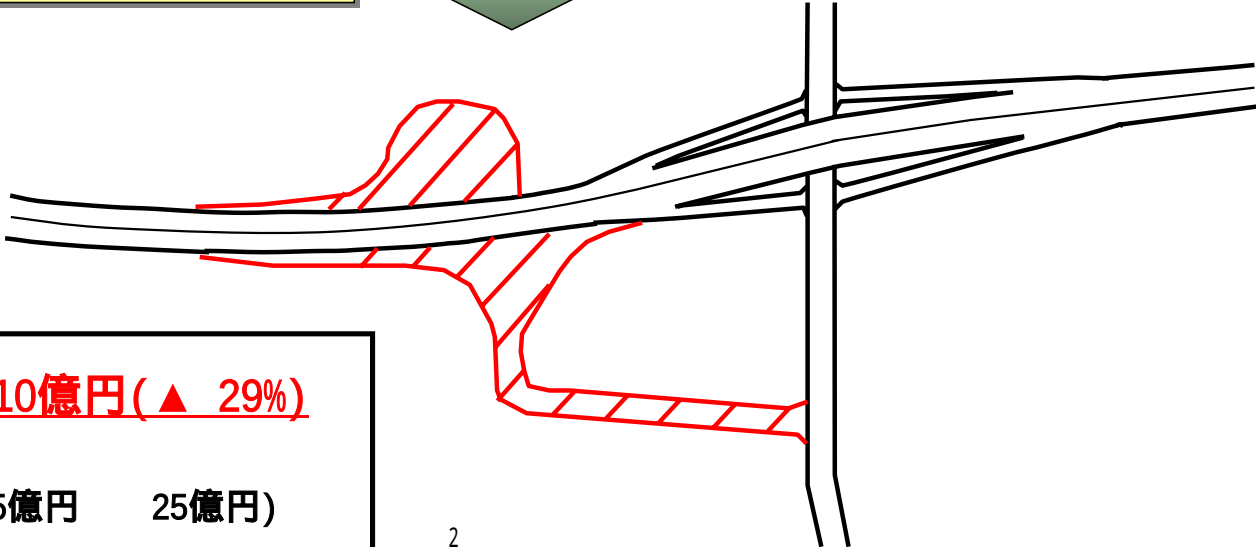
当初計画



インターチェンジ形式を変更することにより、
赤色部の用地・土工量を縮減



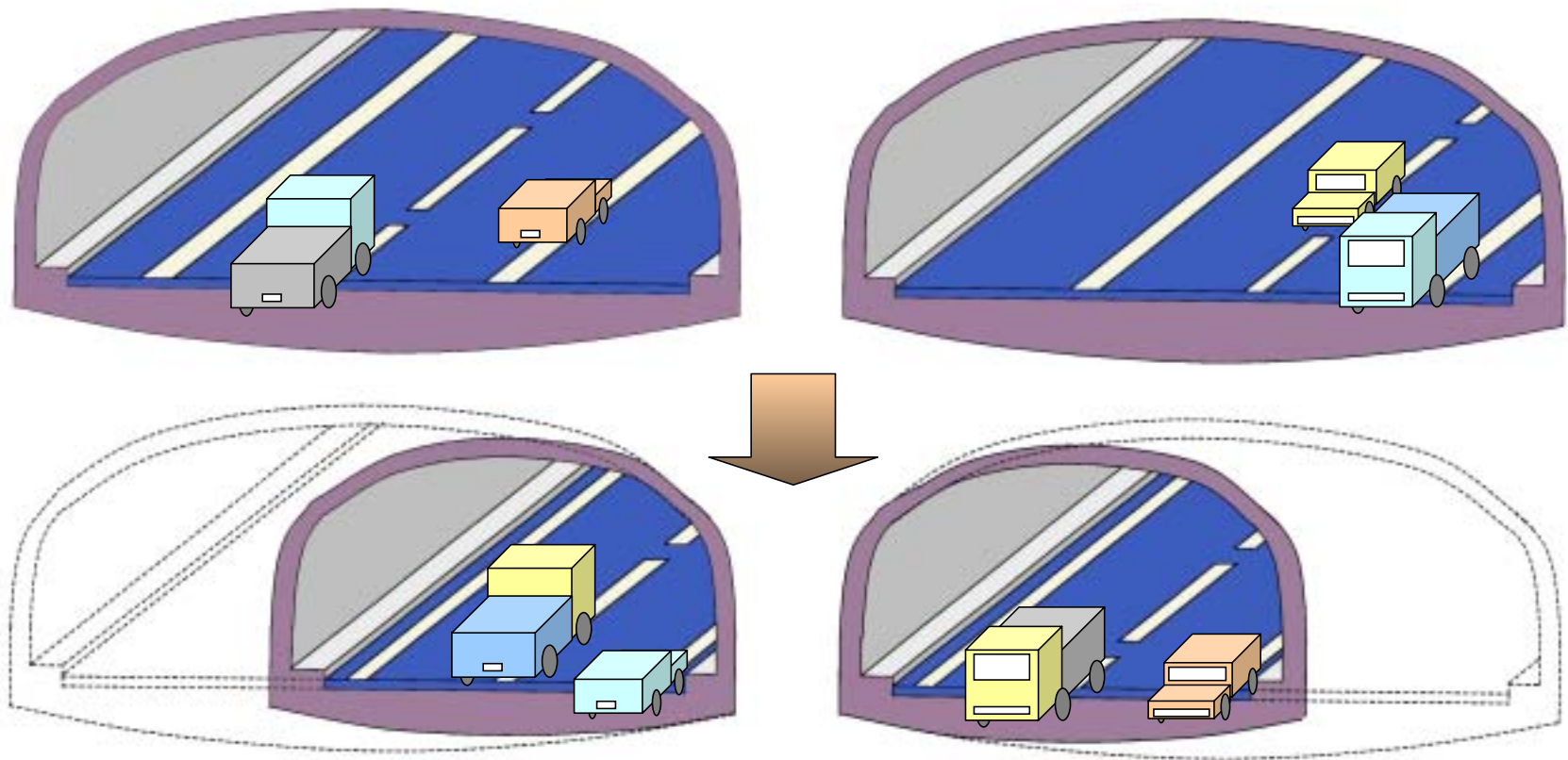
変更



合計	▲ 10億円 (▲ 29%)
	(35億円 25億円)

規格変更によるコスト縮減(施工形態等の見直し)

- 施工形態等の見直し(6車線区間の4車線化) ~トンネル部~



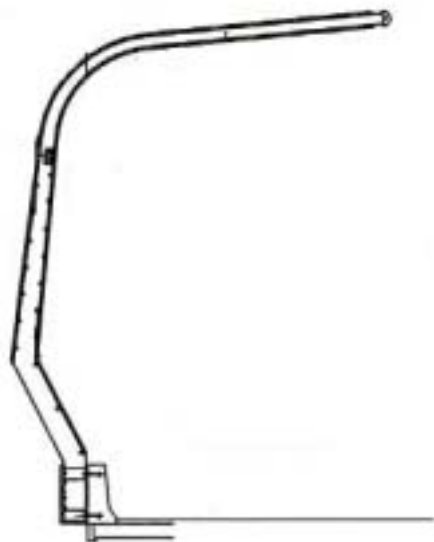
キロコスト ▲ 90億円/km(▲ 56%)

(160億円/km 70億円/km)

高速自動車国道における大型分岐遮音壁のコスト縮減

【現行】

大型遮音壁
(直壁8m + 張出5m)

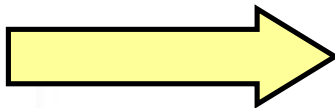


【変更】

大型分岐遮音壁
(直壁6.5m + 分岐1.5m)



減音効果の高い
新型遮音壁を開発



規模縮小が可能
(遮音効果は不変)

合計

▲ 465千円/m (▲ 36%)

(1,279千円/m

814千円/m)

高速自動車国道における落下物防止網のコスト削減

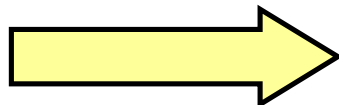
【アルミ仕様】



【亜鉛メッキ仕様】



構造の簡略化



材料・仕様の変更

合計 ▲ 90千円/m (▲ 82%)

(110千円/m 20千円/m)

道路関係四公団の民間企業経験者登用状況

公 団 名	役 職	勤務形態	予 定 者 等	業 務 内 容
日本道路公団	・顧問等	非常勤	・調整中	民営化に向けた総合的指導
	・総合情報推進役 (3/1付)	常 勤	・平井 憲(ひらい あきら)(56) 東京電力理事(国際部担任)	民営化に関する基本的な事項 特に、 ・「民営化を踏まえた道路の高度情報化」 ・「企業会計原則へ移行するための情報 システムに関する事項」
首都高速道路公団	・顧問 (4/1付予定)	非常勤	・日下部 二郎(くさかべ じろう)(57) 東急ハンズ社長 ・鈴木 幸一(すずき こういち)(56) ＩＩＪ 社長	民営化に向けた総合的指導
	・上席参事 (4/1付予定)	常 勤	・檜垣 亨(ひがき とおる)(42) 三菱総研主任研究員	・「コスト削減、民営化に向けた業務体制等 に関する事項」
阪神高速道路公団	・顧問 (4/1付予定)	非常勤	・千畑 一郎(ちばた いちろう)(76) 田辺製薬特別参与 関経連特別顧問(元副会長)	民営化に向けた総合的指導
本州四国連絡橋公団	・顧問 (4/1付予定)	非常勤	・堀切 民喜(ほりきり たみよし)(71) 住友信託銀行元副会長 関西経済同友会元代表幹事	民営化に向けた総合的指導